

令和3年度 志木市立志木第四小学校 第4回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和4年1月17日(月) 9:30~11:00

2 場所 志木市立志木第四小学校 校長室

3 出席者

中森 由紀子	松岡 富美子	肥高 昌次	前田 一男
宮地 千晴	星場 泰彦	石井 都	新井 つね子

【記録 太田 伸哉】 (計9名)

4 協議内容

(1) 令和3年度 保護者アンケート・児童アンケートについて

(校長)

<保護者アンケート>

- ・昨年度に比べ「あてはまらない」の割合が小さくなった。
- ・あいさつ・話を聞く態度・いじめ対応に重点的に取り組んだが、成果はアンケートにも表れている。
- ・体力向上については、昨年度より肯定的な回答の割合が下がっている。コロナウイルス感染症の影響もあるが、反省点としたい。
- ・保護者への情報提供について肯定的な回答の割合が上がっている。ホームページの刷新や学校だよりによる情報発信が評価されているのではないかな。
- ・約半数の保護者が、自分の子供が読書に積極的に取り組んでいないと回答している。来年度に向けた大きな課題である。
- ・家庭学習について、宿題以外の取組について課題が見られる。

<児童アンケート>

- ・昨年度に比べ「そう思わない」の割合が小さくなった。
- ・「学校が楽しい」と回答している児童の割合が90%を超えている。
- ・3・4年生は自己肯定感が高く、学校生活を楽しんでいることがうかがえる。
- ・あいさつについては児童と教職員で捉え方が異なるようにも感じられる。
- ・しっかりと話を聞いている、と回答している児童が多い。学力向上にもつながっているのではないかな。
- ・外遊びや運動に積極的に取り組んでいると回答した児童の割合が小さい。感染症対策で制限をかけられた影響もあったが、課題である。

(委員)

- ・「進んで学習に取り組む」については、保護者は評価が低く児童は評価が高い。子供はやっていると思っているが保護者は満足していないのではないかな。保護者はコロナ禍において「これだけできていればよい」ということが判断できなくて困っている。
- ・靴そろえを徹底することはとても大切である。家庭でも取り組むべき。

- ・児童が「先生に相談しやすい」と感じているのがとてもよい。先生と子供の壁がないと、親も安心できる。
- ・「学校が楽しい」という評価は、「授業が楽しい」「先生が話を聞いてくれる」という評価ではないかと思ひ、とても感動している。
- ・相手の目を見て話を聞くことについては、これからも継続して取り組んでもらいたい。
- ・交通安全について、1・2年生の自転車の乗り方を危険と感ずることがある。
- ・読書については、漫画などから興味をもたせてもよいのではないか。
- ・タブレット持ち帰りについて保護者の否定的な意見が多いのは残念である。とても有意義なことであると感じている。
- ・読書活動推進のためには、古い本を廃棄し、新しい物に取りかえることも重要である。
- ・「学校が楽しい」「授業がわかりやすい」という児童の評価は、先生方の努力の結果である。
- ・「自分から進んであいさつ」の評価が低いのは、コロナ禍で家庭への来客が少ないのも影響しているのではないか。
- ・LGBTQ、トランスジェンダーへの対応についても考えておいてほしい。
- ・読書活動の推進には、校内で読書の時間を設ける、教師が自分の好きな本を紹介する、などの手立てが考えられる。

(2) その他 (意見・質問等)

特になし

5 次回の開催日程

令和4年2月25日(金) 9:30～ 場所: 志木市立志木第四小学校 校長室